

被災地図書館関係者慰労会と、阪神大震災等被災地域図書館関係者の東北への招聘  
への援助について

1. 概要

- ・資金を集めたい saveMLAK に関連する企画がある。
- ・カンパを募りたいが、単独で集めた場合、実施が未定であったり、予算規模が分からなかったりする段階では、余剰や不足が生じる可能性があり大規模に動きにくい。
- ・すばやく動き始めるために、カンパを募りやすい仕組みがほしい。saveMLAK 口座を使えないか。例えば共催企画にして、資金を出すなど。
- ・6 月 19 日のうきうきウィキ祭り東京会場で、未定の部分があることや場合によっては saveMLAK への寄附にさせていただくことを了承いただいたうえで、カンパの募集は始めている。

2. 事業案

(1). 東北地区図書館員の慰労会

6 月 27 日（月）～7 月 1 日（金）まで、東北学院大学図書館でのボランティアに行く部隊があり、東北地区の図書館員の方たちを招いての慰労会を企画している。

企画者：吉間仁子さん

(2). 東北地区図書館員の集まり「MULU」への、阪神等被災地区図書館職員の招聘

MULU のメンバーの Twitter 発言が発端。

@Sakuragiiwakiri ところで関西の皆さん、阪神大震災で被災して復興を見届けてきたライブラリアンの方で、東北に来てお話ボランティアしてくれる方って誰かいらっしゃいませんか？こちらは軍資金が無いので、何かにかこつけて来仙されるか、きっかけが欲しいか居ないですかね???

<http://twitter.com/#!/Sakuragiiwakiri/status/80422238708445185>

MULU のイベントとして講演を依頼したいが予算がない。

「復興までのイメージやビジョンを持ちたい」

打診先のあてはある（神戸大の稲葉洋子さん等）が、まだ具体的な話はしていない段階と思われる。

3. 検討事項

- ・saveMLAK から支出する事業の決定手順
- ・上記二事業への支出可否
- ・可だとして saveMLAK の名前をどう出してもらうか
- ・具体的な受け渡し方法